關西大學新報
発行所
大阪市大淀区長柄中通2
関西大学新報社
関西大学天大学舎内
電話 ㊥2072～6
発行人 平山 忠雄
編集者 大日野宗吉
(定価一部10円)

古本全般売買
天牛本店
南区道頓堀中座前
電話㊥二七五八番

六・一八 二度び全学授業辞退
空前の九百名参加

扇町で五千名と合流
学友の死で怒り高まる

安保阻止と国会解散、岸内閣退陣を要求して行なわれた国民運動は、六月十五日の国会デモで、多数の死傷者が出るに及んで、当局の強圧もかかわらず、一段と全国的に盛り上りをみせ、十八日の統一行動には、約六百万人が参加した。特にこの日のデモには樺美智子さんの死を弔って胸に黒リボンをつけていたのが目立った。本学でも四日、十五日に続いて、三たび全学授業辞退を強行して、抗議集会とデモ行進を行ない、最高の九百名が参加した。当日は学研、文化、弁論、新報の四大パートが主催し、学友会は、久保委員長ら三名を、東京の集会に派遣した。

十八日の統一行動については、前日四大パートと執行部の間で協しあいの結果、四大パートが主催することになり、執行部は三名の代表が東京集会に参加することになった。

すでに六月に入ってから四日、十日、十一日、十五日と学内で抗議活動を行なっていたことから、その成りゆきが気づかれていたが、主催側で特に学生への情宣と教授への協力を積極的に展開したため、学友会始まって以来の九百名の学生の動員に成功した。

また五時から各パート代表が正門近くに立って、登校学生に対して、集会への参加を呼びかける一方、教授室で発起人に、講義休んで学生と一緒に参加してもらうよう、協力を要請した。

授業はほとんど語学であったが、先生方の承諾のもと各教室をまわって、学生に授業をやめて参加するかどうかをはかった結果、一部をのぞいたほとんどの授業が中止となった。二時限目以降は、二十五日の自治委員会を通過して、学友会への参加呼びかけ、教授への協力要請、講義休講の最後に、樺さんの死を悲しむ追悼集会を行なった。

七時には体育館に千名余りの学生が集まり、岩江四大パート共斗会議代表のあいさつのほか文学部本庄教授のメッセージを受けた。樺さんの死を悲しむ追悼集会の大会スローガンを採択して、国際学連の歌を合唱したのち、デモ行進に移った。天六を経由し同町公園に入り、待機中の夜間学生約五千名と合流した。公園には高校生が大半を占め、八尾、高津、市岡、西野田、布施工、東淀川などの高校生のほか、学大、経大、市大などが加わった。

八時公園での集会終了、高校生は、東淀川、高津、布施工、市岡、西野田、淀川、城東、東淀川、毎日新聞社前を通って中央郵便局で流れ解散した。

この日のデモにはプラカードに黒リボンをつけたものが多く、樺美智子さんの死に抗議する気分が強かった。このデモは無届けであったが、警察側らは一度総指揮に解散の申入れがあったにはあったが、混乱なく、整然とした示威行進となった。裏通りの交差点で立ち止り、丸刈りの高校生を激励する市民が多かった。

◎=安保阻止斗争はついに一人の若い生命を犠牲にしてしまった。全学連の行動にはいつも批判的な世論も今回だけは新聞などがたたいにもかかわらず、かなり同情的だったようだ。とくに十五日の国会デモでは手名に示る負傷者を出して壮絶を極めた。本学でも例の四大パートが集って翌日早速く支援カンパと抗議警名を開始し、いつもなら冷ややかられるカンパも例合成績もよいようだ。

○=この抗議署名とカンパは休憩時間中に、各教室をまわって学生に訴えたわけだが、六月二十一日三時限目、四十三教室でT君とW君の二人がカンパに入っていた。普通なら始業のベルが鳴ったらすぐ教室に来られたらとうですかと、やっとたどり、これにも入ったこの時間に半分ほどの学生が、「先生はまだ来ていない」と答えた。

◎=この件で教室のカンパには、すっかり神経質になっていたW君、その翌々日もこの時間に教室へ入っていたところ、今度は始業のベルがなる前に先生がやってこられた。すぐに教室から出ようとしたが、「君君」と呼ばれて、ガクリ。振り向いたところ、この先生百円札を一枚さし出した。二千円も集まってきておいて、「講義にイノチをかけている」と怒鳴る先生と「ゆっくりやれ」といって百円カンパする先生とある。人さまざまというが、大学教授もさまざまだとW君感慨しきり。

◎=安保阻止斗争はついに一人の若い生命を犠牲にしてしまった。全学連の行動にはいつも批判的な世論も今回だけは新聞などがたたいにもかかわらず、かなり同情的だったようだ。とくに十五日の国会デモでは手名に示る負傷者を出して壮絶を極めた。本学でも例の四大パートが集って翌日早速く支援カンパと抗議署名を開始し、いつもなら冷ややかられるカンパも例合成績もよいようだ。

○=この抗議署名とカンパは休憩時間中に、各教室をまわって学生に訴えたわけだが、六月二十一日三時限目、四十三教室でT君とW君の二人がカンパに入っていた。普通なら始業のベルが鳴ったらすぐ教室に来られたらとうですかと、やっとたどり、これにも入ったこの時間に半分ほどの学生が、「先生はまだ来ていない」と答えた。

◎=この件で教室のカンパには、すっかり神経質になっていたW君、その翌々日もこの時間に教室へ入っていたところ、今度は始業のベルがなる前に先生がやってこられた。すぐに教室から出ようとしたが、「君君」と呼ばれて、ガクリ。振り向いたところ、この先生百円札を一枚さし出した。二千円も集まってきておいて、「講義にイノチをかけている」と怒鳴る先生と「ゆっくりやれ」といって百円カンパする先生とある。人さまざまというが、大学教授もさまざまだとW君感慨しきり。

国鉄ストへ支援

六月四日、同十五日、同二十二日の交通機関の時限スト応援のため、二部学友有志が参加した。四日は国鉄梅田駅へ四名、十五日は国鉄常磐操車場へ十一名がそれぞれ前夜から宿り込んだ。

記者の眼

大学教授もさまざま

どなられてしまった。弁解しようとすると「弁解は聞かん」と一喝されてしまった。仕方なしに、「前夜出る」と出たのも、「君はオレの講義内容に干渉するつもりか」とこれまたどなりつけた。授業のあとで、この三人を教授室へ呼びつけたまではよかったが、四大パートから名の代表が面会を求めたところ、「貧血を起こしたので、もう少しぼかりとしていたいから他愛のないはなし。

◎=この件で教室のカンパには、すっかり神経質になっていたW君、その翌々日もこの時間に教室へ入っていたところ、今度は始業のベルがなる前に先生が

部活動評価で紛糾か
学生大会二十九日に開催

今年度学学生大会は、六月二十九日、午後六時四十五分から、三十大教室で開かれる。

執行部では、六月二十二日夜委員会を開いて、春期学生大会の日取りについて協議した結果、種々の事情を考慮して、二十九日に決定したもの。

これは、学友会規約に基づいて開かれる新年度の定期大会で、役員の承認、一般活動方針案、予算案の討議など、一年間の活動の基本を決定する重要な大会である。一般活動方針については、すでに二十五日の自治委員会で一応執行部案が支持された。予算案については、予算議員会で一括審議方式をとることになったが、体育、応援団、学研の予算について、前年度の増減比が大きすぎ、その理由も明確でないとして、自治委員会で問題となり、二十七日に改めて、自治委員会を招集した。

今年度学生大会は、例年とは違った角度から、意義が大きいといえる。新しく生れた執行部の構成が、いままでの学研中心から、体育、応援団中心へ移ったことも、その一つだ。クラス代表の自治委員から選ばれた執行部の性格を、学研とか、体育とかの色分けをすることは、必ずしも妥当ではないが、現実には、そのような二つの勢力が互いにけん制し合っているのということは否定できない。

現執行部は、過去の経験として活動し、昨年度は、規約改正問題の白紙撤元、金学連脱退などを達成し今年度はついに、執行部を担当することになったわけだ。この大会は、執行部にとっては、自らの活動方針を、系統的に全学生に問う最初の機会である。一般活動方針は、二十五日の自治委員会を通過したが、これについて変ったところとしては、今回の委任阻止闘争の評価と、今後の行動をどうするかということと、予算案についてであろう。特に学研の活動に対する執行部の考え方の相違が問題である。学研予算が減った理由については、明確な説明はなかったが、政治活動を好まない執行部に対して、学研の活動がこの辺に添わないからだとの推測もある。或る幹部が「学研は左翼運動をするからだ」と警告したともいわれる。若しこれが事実であれば、重大問題なので、予算額の点は別にしても、クラブ活動の在り方について、学生大会で充分討議し、執行部と一般活動家との意見の一致をみておくことが必要であろう。

評議員会 予算案決まる
各パート著しい増減の差

さる、六月十六日開かれた評議員会で各パートおよびクラブの本年度予算案が決定された。

まず最初に各パート、自治委員、執行委員会からの組の提案がありそれについて審議したが決まらずでないとして、自治委員会で問題となり、二十七日に改めて、自治委員会を招集した。

今年度学生大会は、例年とは違った角度から、意義が大きいといえる。新しく生れた執行部の構成が、いままでの学研中心から、体育、応援団中心へ移ったことも、その一つだ。クラス代表の自治委員から選ばれた執行部の性格を、学研とか、体育とかの色分けをすることは、必ずしも妥当ではないが、現実には、そのような二つの勢力が互いにけん制し合っているのということは否定できない。

現執行部は、過去の経験として活動し、昨年度は、規約改正問題の白紙撤元、金学連脱退などを達成し今年度はついに、執行部を担当することになったわけだ。この大会は、執行部にとっては、自らの活動方針を、系統的に全学生に問う最初の機会である。一般活動方針

解説

論説 安保批准と国民の声

空前の大規模な動員をかけて国民が反対した新安保条約は、ついに自然承認の形で国会を通過し、二十二日になった。もちろんこれには社会党の声明にもある通り、法的にも政治的にも異論のあるところもあるが、いまの政府与党の態度は、違法だなどということは耳に入らないであろう。

なるほど五月二十日の衆院本会議で、例の野党が一人も居らず、討論賛成議員の出席のもとに開会し強採したとは、法的には、違法だなどとは言えないであろう。

なるほど五月二十日の衆院本会議で、例の野党が一人も居らず、討論賛成議員の出席のもとに開会し強採したとは、法的には、違法だなどとは言えないであろう。

国民がこのような違法に憤怒し、抗議集会やデモ行進を行なったことは、むしろ当然のことである。

もちろん普通ならば政府は国民の代表である国会の政府にまかせておけばよいであろう。しかし、その国会において民主主義が否定され、国民の声が無視されたとき、われわれは、それに対して抗議の意思を表明することは、憲法に規定された国民の義務であるわけだ。民主主義や、基本的人権は決して上から与えられるものではなく、われわれ国民自身の絶えざる努力によって、守ってゆくべきものである。民主主義の土台であるべき、国民の抵抗権を否定して、真の民主主義も議会主義も存在しない。

政府は違法だという変革機関のストに対しても、市民はほとんど抗議しなかった。本学でも、例の四大パートが集って、学友会主催の行使を否定して、真の民主主義も議会主義も存在しない。

政府は違法だという変革機関のストに対しても、市民はほとんど抗議しなかった。本学でも、例の四大パートが集って、学友会主催の行使を否定して、真の民主主義も議会主義も存在しない。

政府は違法だという変革機関のストに対しても、市民はほとんど抗議しなかった。本学でも、例の四大パートが集って、学友会主催の行使を否定して、真の民主主義も議会主義も存在しない。

遺日の数十万の抗議デモを、すべて国際共産主義者の扇動によるものとしてしまうことは、絶対に許されない。まして五月二十日の安保採決、六月二十日の岸採決の強行採決、そして三十一日夜の批准手続きなどは、議会政治、民主政治の建前からいって、断じて許し難い。

世論の反対がこれほどまでに盛りあがっている大問題に対しては、国会の慎重な審議討論を通じて国民の納得を求めるべきであり、解散によって民意を問うべきであり、解散によって民意を問うべきであり、解散によって民意を問う

葦の葉論壇

学内問題解決が先決

（商四）　弦本英昭

関大二部の学生諸君の苦難を乗り越え、現在の体育会を育ててこられたことに対し、我々現役部員にとって非常に喜ばしく思う。体育会本部が創立したのは、昭和二十八年であり、まだ日も浅いが、八代目本部長に選ばれた私は非常に光栄である。また日が増すごとに私の責任の重大性を強く感じる。前期も残り少なくなったが私の行動を顧みるにあたり自分が思っていたことを十分のこも実行することが出来なかったことは非常に残念に思う。それに反し二部体育会本部の発展日が増すごとに発展しつつあり、非常に喜ばしい状態である。現在活動しているクラブは十五クラブであり、そのうち四部が一、二部合同でやっている。あとの十一部は二部単独で対外的にも良き成果をおさめている。先日行われた関西学生拳法選手権大会に関大二部拳法部が良き成績を上げ、続いて準硬式野球西日本大会に二部単独で野球部が選抜され準決勝に進出して関大二部準硬式野球部の名を全国に轟かせた。また関西学生空手選手権大会に二部空手部が準々決勝に進出し、押しもおされぬ関大二部体育会に成長した。またフェンシング部は甲南と定期戦を持ち惜敗はしたが非常に部員がまとまりつつある。定期戦としては六月十九日関大体育館で対府大第二回定期戦に、八対五をもって昨年度の汚名を返上した。このように体育会にとって非常に前途が明るく喜ばしい状態である。またこれらは一例にすぎず、各部のことを色々綜合すれば良いのであるが、色々な機縁この他のことは諸君が色々な親道によって知ってもらえればよい。ただ誤解してもらってはならぬことは、このように試合を行う体育会は屈間の大学であるということである。各大学には二部体育会として、色々ある。関西大二部体育会はさ発展しました単独で対外的に進出している体育会はない、各部の部員は昼間は職に夜勉学に励むと共にスポーツに励げんでいるのである。言葉では簡単に昼働き夜勤学のあいまを見出し練習することは言葉では表わせない。上練習は大きいため部員を酷使するとの声が非常に高い。あまり考えていないものと思う。例えていうなら大きい家を建てる場合、土台がしっかりしていて表面的に立派であっても風が吹けばたちまち崩れ去ってしまうであろう。色々な政治問題に介入することに反対するのではない。関大二部の学生が明るく楽校出来るようになった時にこそやるべきではないだろうか。私の考え方は間違っているのかもしれない。（一部学生にいわれれば）だが現在のままの状態では色々な政治問題に介入するということに対し、我々は反対せざるを得ない。学内の問題を解決し、また二般学生が明るく楽校できるように、願わくは体育会発展のために部員が心良く練習できるように我々は願う。

最後に我々体育部員は、いかなる困難に対しても、ファイトを持って、また二般学生諸君の模範となるよう努力する。また二般学生諸君の御協力をお願いする。（体育会本部長）

国会座り込みルポ

自民党政府による強行採決を決定づけた「午前零時」私たちは五万人の学生とともに国会正門前に座りこんでいた。

△△△△△△
▽▽▽▽▽▽

―一九六〇年六月十九日午前零時―この日は安保新条約と会期延長が衆議院において強行可決されてからちょうど一ケ月、二年余にわたる安保阻止国民運動のなかでまれにみる発展をとげた大衆行動も、また二千万人にのぼる国会請願をも無視され、この条約の自然承認を決定、我が国の歴史に再び汚点をしるした日である。

この日、国会周辺はただならぬ空気がたちこめ、国会をとりまく人の波で身動きもできない。しかし、国会正門前は無気味なほど静かだ。誰かが刻々と"時"を告げる声のみが淡々と響いた。

"十二時だ"という声に一瞬、新聞社のフラッシュがたかれ、ここかしこでは空にはけたたましくヘリコプターが旋回する。

暗やみのなかで互いに顔もうつるのでいた顔、顔も緊張にたじろぎする激しい憤どおりがまとまりとなり、同時に"これで政治は決定的に一変する"という声に一瞬暗い決意がみなぎった。

お互いに友情の視線を交しながら、今までのように"民主政治"にたいする怒りと平和への願望を求めあい、手と手をしっかり握りしめたいような仲間への連帯意識に対そうこうました。

十八日の朝六時、私たちは大阪をたち東京についたのは四時少し前だった。

国会に向って走るようにかけつけたが、地下鉄は閉ざされていたが、そこからデモ行進が国会前まで延々と続いていた。そのなかには地方からかけつけた代表者の一団、また都内の中・小企業の組合の人たち、普段は家にとじこもっていると思われる主婦たちもいる。

ところで松田氏は文政の衝に当る人物である。もとよりかれは党人であり、内閣官房の操るロボットともいえるときには日教組と平行線の論陣を張ったりしてきた。

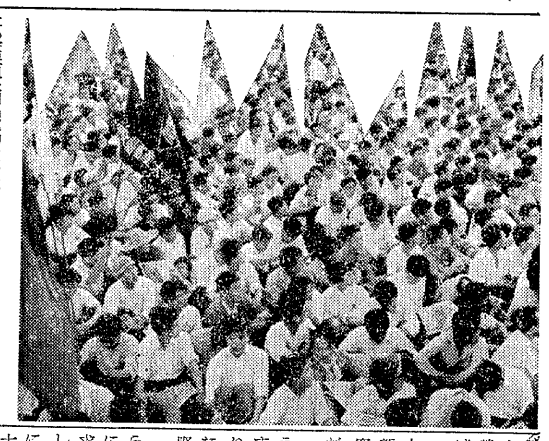
暗やみのなかで互いに顔もうつるのでいた顔、顔も緊張にたじろぎする激しい憤どおりがまとまりとなり、同時に"これで政治は決定的に一変する"という声に一瞬暗い決意がみなぎった。

お互いに友情の視線を交しながら、今までのように"民主政治"にたいする怒りと平和への願望を求めあい、手と手をしっかり握りしめたいような仲間への連帯意識に対そうこうました。

十八日の朝六時、私たちは大阪をたち東京についたのは四時少し前だった。

国会に向って走るようにかけつけたが、地下鉄は閉ざされていたが、そこからデモ行進が国会前まで延々と続いていた。そのなかには地方からかけつけた代表者の一団、また都内の中・小企業の組合の人たち、普段は家にとじこもっていると思われる主婦たちもいる。

国会へ30万人が抗議
こみあげる岸への怒り



評時

松田文相の下敷き

文学教授　金戸嘉七

時局はけだし振幅を示して、きょうしてあすの予断を許さない。この新聞の発行までに何ごとが起こるかわからないこの瞬、時評の目をちょっとさらしてみよう。

つい先ごろのこと、文部大臣松田竹千代の署名が入った学歴用の下敷きが、かれの選挙区の小学校生徒に配られるとして問題になった。二、三記事で紹介したようである。

この下敷きは、現職の大臣の選挙事前運動ということになると話は簡単ではない。公職を利用しての事前運動はかれらにとっては悪質もんでもない。新人が立候補しているからなかなかたたないのは、こうしたことが平気でおこなわれて、それが生む効果を発揮する有権者がいるからである。現にわたしも「大阪府知事選挙前哨戦」という署名入りの風刺歌を一枚もっている。時には一ケ月を過ぎて学校へ持ってゆくが、恥ずかしいので受取ってもらえない。これでは贈り主の気もちに悪い。

そこで、やはり解散ともなればシコタマ稼ぎ出すというのが、イジマシイ分子もすくなからずいるのが、この何々先々援会の特殊性であるが、これらを除いた選挙共にわずかとしたしたかぎて、親分をとり囲んでなんらかの利益にあずかろうという連中である。岸の生家に表札を張りめぐらして防衛している。山口県田布施町の保守的な町民諸君などの類いとしているのだから、先生の当落は死活の問題である。したがって選挙に近いという情勢判断と同時に、かれらの頭脳は電光のごとく、いかにして事前にすでに先生を普選圏に引き上げるかに思いを馳せる。かねて用意の下敷きが選びだされるのもこの瞬間である。

確固たる基礎をもた松田本の徒党政治に、こうした物品の取授による選挙の関係は、想像以上強い力をもつ。

そこで、やはり解散ともなればシコタマ稼ぎ出すというのが、イジマシイ分子もすくなからずいるのが、この何々先々援会の特殊性であるが、これらを除いた選挙共にわずかとしたしたかぎて、親分をとり囲んでなんらかの利益にあずかろうという連中である。岸の生家に表札を張りめぐらして防衛している。山口県田布施町の保守的な町民諸君などの類いとしているのだから、先生の当落は死活の問題である。したがって選挙に近いという情勢判断と同時に、かれらの頭脳は電光のごとく、いかにして事前にすでに先生を普選圏に引き上げるかに思いを馳せる。かねて用意の下敷きが選びだされるのもこの瞬間である。

確固たる基礎をもた松田本の徒党政治に、こうした物品の取授による選挙の関係は、想像以上強い力をもつ。

たった一枚の下敷きといってもバカにならない。そんなものの威力が生みだした今日の時局の混迷ぶりの、保守的な地帯には、若い世代とのあいだに断層を示したがらも、こうした義理人情のしがらみは容易にたち切れないのである。岸の生家に表札を張りめぐらして防衛している。山口県田布施町の保守的な町民諸君などの類いとしているのだから、先生の当落は死活の問題である。

そこで、やはり解散ともなればシコタマ稼ぎ出すというのが、イジマシイ分子もすくなからずいるのが、この何々先々援会の特殊性であるが、これらを除いた選挙共にわずかとしたしたかぎて、親分をとり囲んでなんらかの利益にあずかろうという連中である。岸の生家に表札を張りめぐらして防衛している。山口県田布施町の保守的な町民諸君などの類いとしているのだから、先生の当落は死活の問題である。

そこで、やはり解散ともなればシコタマ稼ぎ出すというのが、イジマシイ分子もすくなからずいるのが、この何々先々援会の特殊性であるが、これらを除いた選挙共にわずかとしたしたかぎて、親分をとり囲んでなんらかの利益にあずかろうという連中である。岸の生家に表札を張りめぐらして防衛している。山口県田布施町の保守的な町民諸君などの類いとしているのだから、先生の当落は死活の問題である。

そこで、やはり解散ともなればシコタマ稼ぎ出すというのが、イジマシイ分子もすくなからずいるのが、この何々先々援会の特殊性であるが、これらを除いた選挙共にわずかとしたしたかぎて、親分をとり囲んでなんらかの利益にあずかろうという連中である。岸の生家に表札を張りめぐらして防衛している。山口県田布施町の保守的な町民諸君などの類いとしているのだから、先生の当落は死活の問題である。

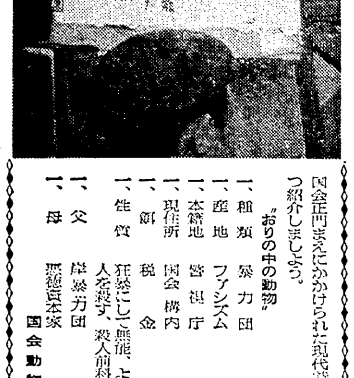
そこで、やはり解散ともなればシコタマ稼ぎ出すというのが、イジマシイ分子もすくなからずいるのが、この何々先々援会の特殊性であるが、これらを除いた選挙共にわずかとしたしたかぎて、親分をとり囲んでなんらかの利益にあずかろうという連中である。岸の生家に表札を張りめぐらして防衛している。山口県田布施町の保守的な町民諸君などの類いとしているのだから、先生の当落は死活の問題である。

そこで、やはり解散ともなればシコタマ稼ぎ出すというのが、イジマシイ分子もすくなからずいるのが、この何々先々援会の特殊性であるが、これらを除いた選挙共にわずかとしたしたかぎて、親分をとり囲んでなんらかの利益にあずかろうという連中である。岸の生家に表札を張りめぐらして防衛している。山口県田布施町の保守的な町民諸君などの類いとしているのだから、先生の当落は死活の問題である。

そこで、やはり解散ともなればシコタマ稼ぎ出すというのが、イジマシイ分子もすくなからずいるのが、この何々先々援会の特殊性であるが、これらを除いた選挙共にわずかとしたしたかぎて、親分をとり囲んでなんらかの利益にあずかろうという連中である。岸の生家に表札を張りめぐらして防衛している。山口県田布施町の保守的な町民諸君などの類いとしているのだから、先生の当落は死活の問題である。

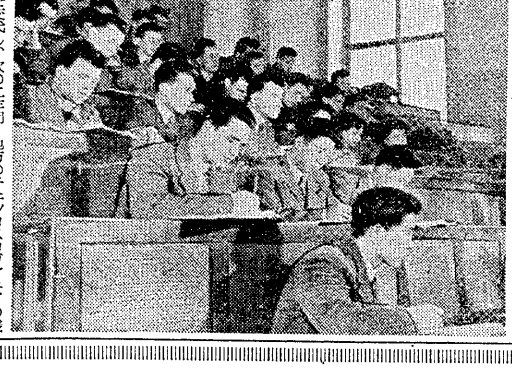
そこで、やはり解散ともなればシコタマ稼ぎ出すというのが、イジマシイ分子もすくなからずいるのが、この何々先々援会の特殊性であるが、これらを除いた選挙共にわずかとしたしたかぎて、親分をとり囲んでなんらかの利益にあずかろうという連中である。岸の生家に表札を張りめぐらして防衛している。山口県田布施町の保守的な町民諸君などの類いとしているのだから、先生の当落は死活の問題である。

そこで、やはり解散ともなればシコタマ稼ぎ出すというのが、イジマシイ分子もすくなからずいるのが、この何々先々援会の特殊性であるが、これらを除いた選挙共にわずかとしたしたかぎて、親分をとり囲んでなんらかの利益にあずかろうという連中である。岸の生家に表札を張りめぐらして防衛している。山口県田布施町の保守的な町民諸君などの類いとしているのだから、先生の当落は死活の問題である。



チェコスロバキアの高等教育改革
〝生産と直結した学問〟

毎年、沢山の青年達が一〇人に及ぶ学部で学ぶために、チェコスロヴァキアの上級学校の門をたたく。そして知識豊かな彼等は私達の文化的社会的生活において、また祖国の経済界のあらゆる部門において、責任ある地位につくよう計画されている。私達社会主義国における高等教育は常に進歩をとげつつあり、チェコスロヴァキアにおける過去八〇年間の貧困なしに決定されていない。上級学校の再編成に関する議論が全国学生会議によって始められそれ以来、何が先行し、何が次に続くべきかで、学生達は意見や考えや提案をだし、数百の集会を通じて、議論が広がって行く。



国会正門まえにかかげられた抗議を一つ紹介しましょう。

〝おりの中の動物〟
一、種類　暴力団
一、産地　ファシズム
一、本籍地　警視庁
一、現住所　国会構内
一、部位　金
一、性質　狂暴にして無能、よく善人を殺す、殺人前科無数
一、父　暴力団
一、母　黒幕官僚
国会動物園

毎年、沢山の青年達が一〇人に及ぶ学部で学ぶために、チェコスロヴァキアの上級学校の門をたたく。そして知識豊かな彼等は私達の文化的社会的生活において、また祖国の経済界のあらゆる部門において、責任ある地位につくよう計画されている。私達社会主義国における高等教育は常に進歩をとげつつあり、チェコスロヴァキアにおける過去八〇年間の貧困なしに決定されていない。上級学校の再編成に関する議論が全国学生会議によって始められそれ以来、何が先行し、何が次に続くべきかで、学生達は意見や考えや提案をだし、数百の集会を通じて、議論が広がって行く。

戦前に比べれば、学生の数は三倍にもふえた。我国の伝統的な大学の中心地だけでなく、他の多くの都市にも、新しい上級学校が設置され、チェコスロヴァキアは高等教育の普及では、世界で指導的な国に列している。

新しい講堂、研究室、寄宿舎を開いて、毎年、沢山の新入生の到来。すべてこれは私達上級学校にとって、無抵抗に進まそう学生にまで強制的に運ばれた危害、そんなばかなこと、様なんは殺されたのだった。

警官は国民の財産と生命の安全を保障する公僕であるにもかかわらず、無抵抗の国民にありゆる凶器をうちふるって傷つかせ、あたかもの保守政権の手先化し、ファッショの道を歩む「前衛的」役割をになうものだった。

十九日の午前〇時、安保新条約の自然承認を喜び、警視庁中庭では大歓声がこだましたという。

自然承認を喜びをかくせなかったのは岸首相と来当局と警視庁と右翼。この一連のつながりは何を意味するものであろうか。

私たちはこの日、国会前、警視庁周辺をくくたか往復した。

国会、警視庁は十五日の惨事に痛々しくその傷あとをのこしていた。いずれも周囲には鉄条網がはりめぐらされ、いくつかの門には装甲車をはじめとする厳重なバリケードが築かれていた。

とくに国会周辺は随分と荒れ、警視庁は窓という窓は堅くとざされ、正門前の機動隊と冷いにらみあいが、何時間となくつづく…。しかし組織のなかの学生は比較的静かだ。学生たちを守っていた私服の警視庁力メラマンを数百人の学生が囲み抗議したさいも警官の挑発にのるなと指導者はむしろ説暗やみがつつむころ、国会をめぐっての緊迫感がひしひしせまった。そのころ真実味をおびた国会乗打ちが鳴れとんだから、国会乗打ちとはかつてナチが用いた悪ラツな手段でそのため労働者が徹底的に迫れた苦事に見習ったものと全学連に対する自重を望む声とおいては、あたりまえのことになったのである。しかしながら、去年より、新しいひとつの呼びものが加わった。チェコスロヴァキアの全教育組織の管理と国際の両方の完全な再編成の構成分子として上級学校の学科の再編成に議論がわき、大きく広がっていった。

それはいったい何であったのであろうか。上級学校卒業生のレベルが高まっているにもかかわらず、ある面では、われわれの社会進歩発達の要求に、彼等が答えられなかったということである。管理上の習慣や、理論上の知識にかんしては、沢山の卒業生達は、彼等の将来の仕事にふさ進備ができていたが、責任ある結果のどんな条件である実際的な経験を彼等は欠いていたのである。

これら欠陥は、社会のみならず、学生や上級学校卒業生達により、当然非難の的になった。この非難は我々上級学校の前途と将来の役割に関して、さらに多くの議論を呼んだ。大きな歩みで前進し、教育年にわたって、前にはなし得なかった問題をきわめて短い間に解決しいる社会において、上級学校教育課程と学生に対する要求が対応してもりあがるということは、明日などことである。十五年か二十年で、現代の工科学生が彼の技術的な成功に達する時には、今もっともなそうもこんな研究が備えられると以上のことを知ることが必要となるであろう。彼等の仕事に対して責任を感じる上級学校は、問題の資格を有する専門家を教育するだけでなく、人生において、後に、かような知識を深め、さらに発展をなすため、才能と決断と理論的、実際的知識を有する人々を教育するのでなければならない。

これが将来における新しい道程と方法の探究と高等教育において始まる成果と欠陥に関する議論に教授や学生達が達した所である。

これらの新しい方法の解答特徴は我々人民の生活について、産業と習得における研究室と実習室のおもに有機的なきづなである。

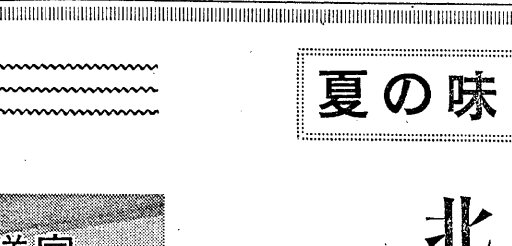
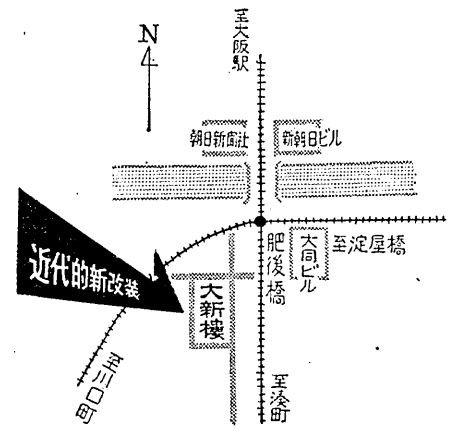
この学年度において、二十二の学科で第一年度の学生達は彼等自身の分野で基礎的な観察工程を習うと産業工場で、機械作業によって、教室や研究室の研究を交代して、産業と習得における研究室と実習室のおもに有機的なきづなである。

これらの新しい方法の解答特徴は我々人民の生活について、産業と習得における研究室と実習室のおもに有機的なきづなである。

これはたとえば、ピルゼンにある機械、電気技術上級学校の学生達がどのように、最初の二年間で研究と実習を交代し、次の二年間で主として研究し、最後の、五年目の年に彼等は、技術者の卵として、実際的な仕事で、書物上の学習を調整し、また卒業論文を準備するため工場へもどるか、ということである。同じような計画が、他の学校でもたられており、とりわけ、工業、農業計画に関する高い水準の実際的訓練が理論上の研究を集結して遂行されたように実際的な経験が学生の理論上の知識を改めるということも期待されている。反対に、学生達の理論上の成功し、すべての必要な状態をつくりだすという証拠であろう。われわれ学生は人民に対し、祖国への奉仕にも誠実をしているのである。

（この原稿はチェコ・スロバキヤの青年学生団体が発行する機関紙「Youth」から本紙によせられ訳したものである）

（六・一六記）



夏の味覚
大阪随一冷暖房完備
北京料理
……大小宴会・集会・商談に……
大新樓
肥後橋交叉点南西入る
電話(44)1661―1663